

平成 28 年第 5 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 28 年 3 月 25 日（金）

午後 4 時 00 分 ～ 午後 4 時 45 分

2 ところ 教育委員室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 齋藤委員 土肥委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課主幹 日下学校給食センター所長

畑島指導室長 高田生涯学習課長 谷村サテライト・キャンパス推進室長

飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 11 号	美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件
議案第 12 号	アルテ ピアッツァ 美唄条例施行規則の一部改正の件
議案第 13 号	アルテピアッツァ美唄の博物館登録の件
その他 1	平成 28 年第 1 回市議会定例会一般質問について
その他 2	第 2 次美唄市生涯学習推進計画・後期基本計画について
その他 3	第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画について
その他 4	スポーツ健康都市宣言(素案)について

概要記録

16:00

●高橋委員長 ただ今から平成28年第5回美唄市教育委員会議を開催いたします。順序第1 署名委員に齋藤委員を指名いたします。順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定を事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 はじめに、説明員の欠席についてご報告申し上げます。生涯学習課主幹の佐藤につきましては都合により欠席いたします。それから、飯野図書館長につきましては会議の途中で中座させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、資料に基づきまして、説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●高橋委員長 ただいま、教育長報告並びに行事報告・行事予定について説明がありました。これにつきまして各委員さんから何かご質問ございませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、次の議題に移ります。順序第4、議案第11号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件について、事務局から説明をお願いします。

●西田学務課主幹 議案第11号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件についてご説明いたします。これにつきましては、国の幼児教育の段階的な無償化の取組みによる子ども子育て支援法施行令の一部改正に伴い、必要な改正をしようとするものでございます。美唄市立幼稚園保育料条例施行規則内にございます別表の備考について改正をするものでございます。改正内容といたしましては、1つ目に、多子軽減における年齢上限の撤廃ということで、お手元の1枚ものの資料をご覧くださいと思いますが、美唄市立幼稚園保育料条例施行規則案、そこにあります別表がありまして、現在、幼稚園保育料につきましては5つの階層区分に設定されておりまして、お子様の人数によりまして、第1子の保育料は満額、第2子の保育料は半額、第3子以降は無償となっております。改正前では第1子の取扱いについては、年齢制限がございまして、年齢の上限を小学校の3年生までとしてございます。この年齢制限により幼稚園に在園しているお子さんの兄もしくは姉が小学校4年生以上の場合は、この在園しているお子さんが第1子となり保育料が満額になってございましたが、改正後では、階層区分1から3、すなわち、市町村民

税が 77,100 円以下の世帯に限り、この小学校 3 年生までを第 1 子とする条件を撤廃し、生計を同一とする子等の最年長者を第 1 子とするということになりまして、先ほどの例で行きますと、在園しているお子さんが第 2 子となり保育料が半額になるものでございます。なお、階層区分 4 から 5 につきまして変更はございませんので、従来通り設けられることとなります。2 つ目といたしまして、ひとり親家庭又は世帯に障害児(者)のいる世帯の保育料軽減措置の拡充ということで、改正前はひとり親世帯などの場合は、区分 2 の世帯では第 1 子の保育料 1,200 円のところを無料に、区分 3 の世帯では第 1 子の保育料 6,100 円のところを 1,000 円差引き 5,100 円としていましたが、改正後につきましては、区分 2 の世帯には、変更はありませんが、区分 3 の世帯につきましては、5,100 円の半額の 2,550 円となり、新たに、第 2 子以降は無料とする内容の改正となっております。以上が、この度の改正になりまして、施行期日は平成 28 年 4 月 1 日としてございます。以上です。

●高橋委員長 ありがとうございました。ただいまの件に関してご質問ございませんでしょうか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議案第 11 号 美唄市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正の件について、原案通り可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案通り可決いたします。

それでは、次に、議案第 12 号 アルテ ピアッツァ 美唄条例施行規則の一部改正の件を議題といたします。説明をお願いいたします。

●高田生涯学習課長 議案第 12 号 アルテ ピアッツァ 美唄条例施行規則の一部改正の件についてご説明いたします。本件は、先月、第 2 回教育委員会議におきましてご審議いただき、第 1 回市議会定例会にご提案いたしましたアルテ ピアッツァ 美唄条例の一部改正の件が去る 22 日の市議会本会議におきまして原案可決されましたことから、関連するこの規則を改正するものでございます。改正規則の主な内容につきましては、新旧対照表をご覧くださいと思います。まず、施設の名称を「アルテピアッツァ美唄」から「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」に変更することに伴いまして、規則の題名及び条文の全般に渡り、「アルテピアッツァ美唄」という表現を、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」へ、また、規則中使っております略称を「ピアッツァ」から「美術館」へ変更するものであります。なお、これまで名称の表記におきまして、「アルテ」と「ピアッツァ」と「美唄」とそれぞれの間にスペースが入ってございましたが、現状、続けて表記す

ることが一般的になっておりますので、条例と同様、このスペースを削除しております。第 2 条ではアートのスペース内にあります「旧工房」をカフェの建物にあります「体験工房」と判りやすく区別するため、「ミーティングルーム」に名称を改めております。第 6 条と第 8 条では条例の改正におきまして、規則中で引用している条例の条番号が変更になっておりますことから整理を行ってございます。併せて、関係の様式類の全面改正を行っております。附則の方で施行期日が平成 28 年 4 月 1 日と定めております。また、施設の名称変更に伴いまして、美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正が必要になりますが、4 月 1 日付で組織機構の変更が予定されておりますことから、4 月以降の改正にしたいと思います。以上、ご審議のほどをお願いいたします。

●高橋委員長 ありがとうございました。ただいまの件に関して、ご質問ございませんでしょうか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ 議案第 12 号 アルテ ピアッツァ 美唄条例施行規則の一部改正の件について原案通り可決することよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案通り可決いたします。

次に、議案第 13 号 アルテピアッツァ美唄の博物館登録の件について議題いたします。説明をお願いいたします。

●高田生涯学習課長 それでは、議案第 13 号 アルテピアッツァ美唄の博物館登録の件についてご説明申し上げます。本件は、ただいまの関連、先ほどの規則改正と関連いたしますが、アルテピアッツァ美唄の博物館法に基づく登録申請書が設置者である美唄市長から提出されましたことから、委員会の決定を求めるものでございます。申請につきましては、関係条例が市議会で議決されました 22 日付けで提出されておきまして、添付書類及び登録要件を所定の審査書の内容に照らし合せて確認をいたしました。資料の方に博物館登録審査書を付けていますのでご覧ください。この審査書の中で、はじめに、添付資料という項目がございます、申請書の項目につきましては、既設な様式で申請されているかという部分がありますが、これは所定の様式で申請されております。次に、添付資料というところで、(1)の「設置条例の写し」から(6)の「館長及び学芸員の氏名を記した書類」まで、全てが添付されているのを確認しております。次のページの施設の項目につきましては、「建物面積」が 1,247.72 m²ありますので、こちらは基準の約 50 坪という基準を上回っております。「陳列室等の施設」につきましても、記載の通り展示室、収蔵庫、事務

室と整備されています。次の資料の項目では、「資料が収集収蔵され、将来的にも収集姿勢が認められるか」につきましては、現在、彫刻 45 点、版画 3 点を含めまして全部で 113 点の資料を所蔵しておりますが、将来的にも、こちらの方の収集は行うこととされています。また、「資料を整理分類し、保管、展示する姿勢が認められるか」ということでは、当然、認められるものでございます。次に、職員の項目では、「館長及び学芸員有資格者を配置しているか」、こちらに記載の通り、それぞれ館長、学芸員が配置されることとなっています。また、次の「一般の職員」についても複数人の職員が報告をされています。次に事業の項目では、こちらのいずれの項目も、既に実施されているものであり、今後一層の充実が見込まれているものであります。次に運営の項目ですが、「館運営のために必要な諸規程」としましては、条例等が整備されております。「開館日数」については、現状で年間約 300 日程度の開館日数がありますので、この 150 日という規定を上回っております。「年間を通じた資料の一般公開」につきましては、作品が通年で常設展示されている状況です。「利用者の広範囲の利用」ということでは、市民に限らず、広く道内外から来場されている現状がありますので、こちらの方もクリアしています。したがって、全ての項目において要件を満たしていることから、総合所見のところになりますが、「登録を承認する」のが妥当だと考えられますので、教育委員会議の決定を求めるものでございます。なお、登録日は平成 28 年 4 月 1 日とし、決定後、登録の告示を行い、北海道教育委員会への登録通知及び北海道公報への掲載を依頼することとなっております。以上、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいま、ご説明のありました件に関し、委員さんの方から何かご質問等ありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議案第 13 号 アルテピアッツァ美唄の博物館登録の件について、原案通り可決することよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案通り可決いたします。

次に、その他 1 平成 28 年第 1 回市議会定例会一般質問について説明を求めます。

●伊藤教育部長 その他 1 平成 28 年度第 1 回市議会定例会一般質問についてご説明を申し上げます。まず、日程についてですが 3 月 2 日から 22 日までの 21 日間で開催されております。会期のうち一般質問については、3 月 9 日及び 10 日の 2 日間で行われまして、全部で 9 名の議員の質問がございまして、そのうち 4 名が

教育委員関連のご質問でございました。そのほか、教育委員会関連案件につきましては青少年育成基金条例の一部改正、アルテ ピアッツァ 美唄条例の一部改正、指定管理者の指定の２件につきましては、いずれも原案通り可決されていますので報告させていただきます。それでは、各議員からの一般質問の内容につきましてご報告させていただきます。

※一般質問、答弁内容説明（添付資料 別紙３）

●高橋委員長 ありがとうございます。ただいまの報告のあった件に関し、委員さんの方から何かご質問等ありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他１ 平成２８年度第１回市議会定例会一般質問については終わります。

次に、その他２ 第２次美唄市生涯学習推進計画・後期基本計画について説明を求めます。

●高田生涯学習課長 その他２ 第２次美唄市生涯学習推進計画・後期基本計画についてご報告いたします。本計画につきましては、昨年１１月の第１５回教育委員会議におきましてパブリックコメントの募集についてご説明いたしましたが、本年１月６日から２月４日までの期間、パブリックコメントの募集をいたしました。その結果、１名１団体から１１項目のご意見をいただきましたが、当方の考え方をお示しし、素案の通り完成版とさせていただきましたので、ご報告いたします。なお、パブリックコメントの内容につきましては、計画書の後ろの方に付いておりますが、こちらの方に１１項目の状況について書かれております。例えば、意見の要旨としましては、「指標と目標値に郷土史料館を追加すべき」というご意見、それにつきましては、「計画の中では、個々の施設の利用を進めるのではなく、市民の皆さんがライフステージに応じて、多様な学習機会を得ることができるよう、幅広く使っていただくことを想定しているので、その指標については、文化関係施設利用者数として市民会館、公民館、郷土史料館を合わせた利用者数を設定しています。」など、そういう内容で記載の通り回答しているものであります。以上でご報告とさせていただきます。

●高橋委員長 ただいま、報告のありました件に関し、委員さんの方から何かご試問等はありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他２ 第２次美唄市生涯学習推進計画・後期基本計

画については、終わります。

次に、その他 3 第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画について説明をお願いします。

●飯野図書館長 図書館から、その他 3 第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画につきましてご説明いたします。本計画は、昨年 11 月の教育委員会議において、計画素案を提示させていただき、その後、昨年 12 月の市議会定例会の期間中、計画素案を議員の皆さまに説明した後に、本年 1 月 6 日から 2 月 4 日まで、市民からの意見募集のパブリックコメントを行いました。計画の次に、資料として添付してあります 1 名の市民からのご意見としては、保育所や幼稚園への図書の貸出しと、貸出しカードを使用しないで、各々の施設の責任により貸出しする方法についてのご意見がありました。市の考えとしては、各々の保育所や幼稚園については、移動図書館車の巡回や配本事業により図書に接している機会の提供を行なっている現状の取組みについて回答し、また、貸出し方法につきましては、各施設での図書管理が繁雑となりますので、より良い方法を研究してまいりたいと回答したところであります。パブリックコメントによる計画素案の変更はなく、本日、計画素案の通りの計画を提示させていただき、今後、公表してまいりたいと考えております。以上でございます。

●高橋委員長 ただいま、報告のありました件に関し、委員さんから何かご質問ありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他 3 第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画については終わります。

次に、その他 4 スポーツ健康都市宣言(素案)について、説明を求めます。

●高田生涯学習課長 それでは、その他 4 スポーツ健康都市宣言(素案)についてご説明いたします。本市は、これまで、軽スポーツから各種競技スポーツまで、いつでも誰もがスポーツに取組みやすい環境づくりに努めてまいりましたが、昨年には、世界的な健康イベントであります「チャレンジデー」にも初参加し、多くの市民の皆さんが運動に取組まれたところです。そこに参加された方々の感想といたしましては、「運動の習慣化に良いきっかけとなった。」ですとか「体を動かし、気分が良い。」など寄せられております。また、本市でも進行している少子高齢化は、子どもたちの集団スポーツの機会の減少や体力の低下による怪我や病気の増加にも繋がることから考えられます。このようことから、全ての市民が健康で生き生きと暮らすことのできるまちづくりに向け、「スポーツ健康都市宣言」を行い、生涯スポーツ

の振興について、全市一体となり取組みたいと考えております。この(素案)についてパブリックコメントを募集しようとするものであり、先の市議会の議員協議会にも説明を行ったところであります。宣言文の素案につきましては、ここに記載の通りであります。心身ともに健康で、いきいきと暮らすことは、市民みんなの願いです。みんなでより良い生活習慣を身につけて、スポーツや運動を楽しみ、いつまでも健やかで笑顔があふれるまちとなるよう、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。私たちは、1 普段から生活のリズムを整え ころもからだも元気に暮らします 1 地元の農産物を取り入れて バランスの良い食事を楽しみます 1 自分たちにあった運動やスポーツに親しみ 自分と家族のために 健康管理に努めます 平成 28 年〇月〇日 美唄市」の形になりますが、宣言の契機といたしまして、子どもたちの運動習慣の定着と体力向上、高齢者を含む家族ぐるみの運動など、市民全体の健康への関心と意識の高揚を図りたいと考えており、このあたりのイメージを資料にまとめてありますが、市民部局と教育委員会とが連携して、年齢や体力など個々に応じた運動事業やイベントの提供に努めることとしております。次のページには、素案に対する、市民の皆さんからご意見を募集するパブリックコメント募集の文書となっておりますが、この(素案)につきまして、平成 28 年 4 月 1 日から 4 月 30 日までの 1 か月間、募集をした上で(素案)を調整し、6 月の市議会定例会にお諮りする予定としております。以上、よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ありがとうございました。ただいま報告のありました件につきまして、委員の皆さんの方からご質問等ございませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他 4 スポーツ健康都市宣言(素案)については終わります。

本日の議事につきましては、以上で終了しますが事務局から何かありませんか。

●伊藤教育部長 事務局からはありません。

●高橋委員長 委員さんから何かありませんか。なければ、これをもちまして平成 28 年度第 5 回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ご苦労様でした。

16:45 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 28 年 2 月 15 日

至 平成 28 年 3 月 24 日

区 分	会 議 等
2月15日	第 2 回教育委員会議 教育委員室
16日	平成 28 年度当初一般教職員人事 2 次協議 空知教育局(岩見沢市)
19日	第 4 回指定管理者選定委員会 市長会議室
24日	第 3 回美唄市総合教育会議 市長会議室
25日	2016 年度チャレンジデー実行委員会 大会議室
26日	美唄市青少年育成基金運営委員会 第 3 会議室
3月 1日	美唄尚栄高等学校卒業式 美唄尚栄高等学校
2日	平成 28 年第 1 回市議会定例会（～22 日） 議場ほか
5日	ピパの子保育園内覧会 ピパの子保育園
8日	第 3 回教育委員会議
11日	防犯ベルの寄贈（株式会社 岸本組） 教育長室
18日	小学校卒業式 東小学校
21日	美唄水泳協会設立 45 周年記念祝賀会 仙中里
23日	美唄地区適応指導教室運営委員会 第 3 会議室
24日	平成 27 年度第 5 回空知管内市町教育委員会教育長会議 空知合同庁舎(岩見沢市)
24日	空知管内市町教育委員会連絡協議会教育長会 空知合同庁舎(岩見沢市)

上記のとおり報告する。

平成 28 年 3 月 25 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙2】

2 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
15	月				
16	火				
17	水	第11回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
18	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
		郷土史料館移動史料館(～23日)		コアびばい市民ふれあいサロン	市民
19	金				
20	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
		市内小中学校絵画・書道展②(～29日)		アルテピアッツァ美唄	市民
21	日				
22	月				
23	火				
24	水				
25	木	ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	市民
		チャレンジデー実行委員会	13:30	大会議室	関係者
26	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
		美唄市青少年育成基金運営委員会	15:00	第3会議室	関係者
27	土				
28	日				
29	月				

3 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	火				
2	水				
3	木	第12回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
		市内小中学校絵画・書道展③(～13日)		アルテピアッツァ美唄	市民
4	金	第12回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育員員室	関係者
5	土				
6	日	キッズ野球教室	10:00	札幌ドーム	市民
7	月				
8	火				
9	水				
10	木	卒業式(美唄中)			
11	金	卒業式(東中、南美唄中)			
12	土	卒業式(峰延中)			
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
13	日	第29回スキーアドベンチャー	9:45	ゆ～りん館周辺コース	市民
14	月				
15	火				
16	水				
17	木	卒園式(栄幼稚園)			
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
18	金	卒業式(小学校)			
19	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
		おしえて!きみのアルテピアッツァ(美術教育プログラム)(～20日)	13:00	アルテピアッツァ美唄	市民
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				
24	木	ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	市民

4 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	金				
2	土				
3	日				
4	月	臨時校長・園長会議	9:00	市民会館	指導室
		転入教職員辞令伝達式	10:00	市民会館	学務課
5	火				
6	水	市内小中学校入学式		各小中学校	
7	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
8	金	美唄サテライト・キャンパス運営協議会総会	15:30	市長会議室	生涯学習課
9	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
10	日				
11	月	栄幼稚園入園式		栄幼稚園	
12	火				
13	水	第1回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
14	木				
15	金				
16	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
17	日				
18	月				
19	火				
20	水	第1回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
21	木	ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	図書館
		美唄市子ども会育成連絡協議会総会	18:00	市長会議室	生涯学習課
22	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
23	土				
24	日				
25	月				
26	火	第1回青少年指導員・専任指導員会議	15:00	市長会議室	生涯学習課
27	水				
28	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
		地域青少年指導対策協議会	13:30	第4会議室	生涯学習課
29	金	サン・スポーツランド美唄無料開放デー		サン・スポーツランド美唄	生涯学習課
30	土				

【生涯学習課】

街頭指導 21日(木)

【別紙 3】

平成 28 年第 1 回市議会定例会

1 日程

会 期	月 日	曜日	会議別	事 項
第 1 日	3 月 2 日	水	本会議	会期決定、市政報告・教育行政執行方針演説、各議案上程
第 2 日	3 月 3 日	木	休 会	議案審査
第 3 日	3 月 4 日	金	休 会	議案審査
第 4・5 日	3 月 5 日・6 日	土・日	休 会	議案審査
第 6 日	3 月 7 日	月	休 会	議案審査
第 7 日	3 月 8 日	火	本会議	教育行政報告、一般質問
第 8 日	3 月 9 日	水	本会議	一般質問
第 9 日	3 月 10 日	木	休 会	常任委員会
第 10 日	3 月 11 日	金	休 会	予算審査特別委員会（補正・当初）
第 11・12 日	3 月 12 日・13 日	土・日	休 会	
第 13 日	3 月 14 日	月	休 会	予算審査特別委員会
第 14 日	3 月 15 日	火	休 会	予算審査特別委員会
第 15 日	3 月 16 日	水	休 会	予算審査特別委員会
第 16 日	3 月 17 日	木	本会議	補正予算追加提案、予算審査特別委員会
第 17 日	3 月 18 日	金	休 会	委員長報告作成日
第 18～20 日	3 月 19～21 日	土～月	休 会	
第 21 日	3 月 22 日	火	本会議	委員長報告、意見書案上程

2 一般質問

順序	会派	質問者	質問要旨	質問日
1	みずほ議員会	桜井 龍雄議員	1 農業行政について 2 地域振興について 3 住宅行政について	3 月 8 日
2	公正クラブ	松山 教宗議員	1 産業振興について 2 地方創生における観光振興について 3 行政組織機構について 4 福祉行政について	
3	日本共産党議員団	吉岡建二郎議員	1 T P P について 2 都市基盤整備について	
4	無会派	本郷 幸治議員	1 I T 行政について 2 福祉行政について 3 子育て行政について 4 選挙行政について	
5	みずほ議員会	金子 義彦議員	1 市政執行方針について 2 指定管理について 3 農業委員会法の改正について	
6	公正クラブ	川上 美樹議員	1 福祉行政について 2 公共施設等総合管理計画について 3 除排雪事業について 4 教育行政について <教育長答弁> (1) 小中学校における I C T 教育について	3 月 9 日
7	日本共産党議員団	吉岡 文子議員	1 市政執行方針について 2 教育行政執行方針について <教育長答弁> (1) 栄幼稚園について (2) 学校の適正配置の検討について (3) 図書館について	
8	無会派	森川 明議員	1 T P P について 2 農業問題について 3 マイナンバーについて 4 市の景気動向について 5 教科書謝礼問題について <教育長答弁> 6 日の丸、君が代について <教育長答弁>	
9	公正クラブ	山崎 一広議員	1 市政執行方針について 2 議会の同意を求める各種委員の選考方法について 3 指定管理制度について 4 環境行政について 5 福祉行政について 6 教育行政について <教育長答弁> (1) アルテピアッツァ美唄の美術館化について (2) 生涯学習の振興について	

3 教育委員会関連案件

- ・美唄市青少年育成基金条例の一部改正の件
- ・アルテ ピアッツァ 美唄条例の一部改正の件
- ・指定管理者の指定の件（市民会館、公民館、公民館拓北分館、公民館桜井邸分館）
- ・指定管理者の指定の件（市営野球場、陸上競技場、サン・スポーツランド美唄）

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

川上 美樹 議員
教育委員会学務課

件 名 4 教育行政について

中項目 (1) 小中学校における I C T 教育について

質問内容

教育長にお伺いします。

その 1 点目は、I C T 教育の現状についてであります。

近年、電子黒板やタブレット端末など、I C T を活用した教育を本格的に実施する自治体が出てきており、子どもたちが楽しそうにタブレットを使いながら授業を受ける映像などを目にすることがあります。このような I C T を活用した教育活動の動きは全国的に広がりを見せ始めているようであります。

現在、急速に発展を遂げている情報化の動きは、今後さらに加速していくものと見込まれます。まさに日進月歩であります。子どもたちが活躍する将来の社会の中では、一層、情報活用能力が求められていくのではないかと考えられるわけであります。

しかし、財政力のある自治体では、先行して I C T 教育を進められる一方、本市のような財政力の弱い自治体では思うように進められない状況にあり、その格差が開いていくことが懸念される場所でもあります。

そこで、まず、本市の小中学校における I C T 機器の導入状況をお聞きします。どのような機器が使われているのか、また、授業などでの活用状況についてもお知らせください。

2点目は、ICT教育に関する今後の方向性についてであります。

これまでのような知識注入型の授業方法にとどまらず、ICTの活用で動画や画像、音声、データなどを使って、子どもたちの興味や関心を引き出しながら、楽しく学ぶことによって、教育の質を高め、学力の定着に結びつけることが、今後、ますます必要になってくるのではないかと、私は感じております。

ICTの活用は、そのような可能性をもっていると思うわけであります。そこで、本市では、今後、どのような考え方に基づいて、ICT教育を進めていこうとしているのか、その方向性について、教育長の考え方をお尋ねします。

答弁内容

(ICT教育について) であります、

① はじめに、美唄市の小中学校におけるICT機器の導入状況を種類別で申し上げます。

教育用パソコンにつきましては、小中学校ともに、授業中に1人1台が割り当たるよう配置しております。このうち、教室を離れて自由に使用することができるタブレット端末等につきましては、中学校において学校規模に応じ2台から9台を備えております。また、実物投影機とプロジェクターにつきましても、全ての小中学校に配備しております。

次に、授業などでの活用状況についてですが、現在、各教科をはじめ、特別活動や総合的な学習の時間など、特別支援学級を含め、教育活動の様々な場面において、デジタルテレビや実物投影機、タブレット端末等を効果的に活用した指導が行われております。

具体的な活用の場面で申し上げますと、「体験学習、実験・観察等を行い、その情報を映像やデータ等で記録する活動」、「実体験とデータ等を合わせて理解を深めたり、思考力を高めたりする活動」、「記録した映像を見直ししながら話し合うことにより、新たな

気づきを得たりする活動」などがあげられます。また、中学校においては、電子黒板の機能をもったプロジェクターを平成26年度に購入し、理科の授業等で、論理的な思考を深める際などに、視覚的な情報を共有しながらグループで学び合う、協働的な学習の場面などで活用しているところです。

② 次に、ICT教育に関する今後の方向性についてであります
が、

ICTの急速な発展は、私たちの日常生活やライフスタイルに大きな影響を与えるものであり、今後も世界的規模で進行していくことが予想されます。国においては、今後策定する新成長戦略の中で、ICT関連教育の強化を検討する動きが始まっております。

このような高度情報化社会において、未来を担う子どもたちが、社会の変化に主体的に対応していく資質や能力を身に付けることは、喫緊の課題の一つであり、美唄市においても、義務教育9年間を見通し、発達段階に応じた情報教育の推進を図っていく必要があると考えております。このことを踏まえ、各学校においては、子どもがコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用することができるよう、教育環境の整備とともに、指導方法や指導技術の充実に努める必要があります。

今後も、情報モラル教育を並行して進めながら、実体験を客観的な視点から見つめ直したり、デジタル教材を活用して視覚支援を図るなどして、基礎学力の定着はもとより、思考力や表現力が身に付くよう、ICTの活用に取り組んでまいります。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

川上 美樹 議員
教育委員会学務課

件 名 4 教育行政について

中項目 (1) 小中学校における I C T 教育について

質問内容

I C T 教育について、再質問いたします。

財政状況が極めて厳しい中で、機器の充実を図ることは、難しいものがあるとは思いますが、現在導入されているものを、特定の先生にだけではなく、どの先生も十分に活用できるようになることが当面の課題ではないかと思えます。

そこで、I C T を効果的に使うための技術や技能をどのように向上させていくのか。具体的な研修や研究活動をどのように充実させていくのか、現在、お考えの方策をお伺いします。

答弁内容

(教職員の I C T に係る研修等について) ではありますが、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用については、小学校段階において、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作を身に付けることに重点を置いた学習活動を行い、中学校段階においては、情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できる情報活用能力を育成するための学習活動を充実することが必要であります。

そのため、教師は、情報手段の操作に習熟するよう努めるととも

に、それぞれの情報手段の特性を理解し、デジタル教材の研究や、指導の効果を高める方法について、組織的に研究を深めていくことが大切であります。

これまで、教職員の専門研修として、道立教育研究所や道立特別支援教育センター、空知教育センターでの講座を活用し、情報処理教育に関する研修などを受講してきております。

美唄市では、中学校において、ＩＣＴの活用に力を発揮している教師を中心として学校全体でＩＣＴ教育の充実に取り組み、成果につなげている例もあることから、学校間の情報連携がスムーズに行える研修の機会を設け、優れた実践例が全市に波及していくよう努めてまいります。

また、各学校を対象として年２回ずつ実施しているＩＣＴ研修により、教職員の資質能力の向上と、児童生徒の主体的な学びを引き出す指導力の向上を目指して取り組んでまいります。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員
教育委員会学務課

件 名 2 教育行政執行方針について

中項目 (1) 栄幼稚園について

質問内容

栄幼稚園について

- ・ 市内幼稚園の在園予定者数の見通しについて（H27～H31）
- ・ 教育行政執行方針では、園児数の減少や隣接するアルテピアッツァ美唄の来訪者数の増加などが想定され、幼稚園や園児の取り巻く環境が変化していくことが見込まれることから、施設の在り方に関し、具体的な検討を行うと述べているが、具体的にどのような検討を行うのか伺う。

答弁内容

（市内幼稚園の在園予定者数の見通しについて）であります、平成 27 年度の 3 歳から 5 歳までの栄幼稚園と私立幼稚園 2 園を合わせた園児数は 171 人となっており、市内全体との比較では約 47% が幼稚園に在園していることになります。

この割合で今後の市内 3 幼稚園の園児数を推計いたしますと、平成 28 年度は 153 人、平成 29 年度は 146 人、平成 30 年度は 152 人、平成 31 年度は 138 人と見込まれ、幼稚園全体では 4 年間で 20% 弱減少する見通しとなります。

栄幼稚園につきましては、平成 20 年度以降、定員である 35 人を割

り込んでいる状況にあり、また、隣接するアルテピアッツァ美唄については、今後、来訪者数の増加が予想されるところであり、幼稚園の教育活動への影響が懸念されるところであります。

以上のようなことから、美唄市が進めるべき幼稚園教育の方向性を定めました「美唄市幼稚園教育振興計画」に照らして、その実現が可能かどうか、園児の安全確保、教育内容の充実や特別支援教育の継続、幼稚園に関する教育研究の役割、施設改善の可能性など、認定こども園などの他の施設形態も含め、多様な観点から施設の在り方について総合的に検討を行ってまいりたいと考えています。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

吉岡 文子 議員
教育委員会学務課

件 名 2 教育行政執行方針について

中項目 (1) 栄幼稚園について

質問内容

美唄市の公立幼稚園はこれまで、北海道の教育の研究分野でも牽引してきた歴史がある。

美唄の公立幼稚園は 3 園から 1 園となったが、栄幼稚園は唯一の公立幼稚園として最後まで存続し、頑張っていると思うが、教育長の見解を伺う。

答弁内容

（公立幼稚園について ） であります、
歴史的に見ますと、昭和 30 年代には市内に公立幼稚園は 6 園あり、函館市や札幌市とともに、全道の幼稚園教育の先導的な役割を担い、1 園となった現在も全道規模の研究大会等の会場となり、多くの実践的研究の提言や発表が行われております。

また、市内においては、地域の未就学児を含む保護者の方々に対する教育センター的役割をはじめ、幼保、幼小中連携における中心的役割、特別支援教育における役割、そして、幼稚園教育に関する教育研究の中心的役割などを担ってきております。

このような歴史や役割を踏まえ、お話しのあった点も含め、将来的

にどのような教育体制が必要であるのか、今後、十分検討してまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員
教育委員会学務課

件 名 2 教育行政執行方針について

中項目 (2) 学校の適正配置の検討について

質問内容

今年度の教育行政執行方針において、新たに「学校の適正配置の検討」を加えた意図について伺う。

また、今後 5 年間の児童生徒数の推移について伺う。

答弁内容

（学校の適正配置の検討について）であります、

市教育委員会では、一昨年 の 8 月以降、将来の望ましい学校の配置について、教育委員会議等において協議を続けてまいりました。そのような中、今後 5 年間の中でも児童生徒数の減少が見込まれるとともに、先般、市で策定した「美唄市人口ビジョン」では、総人口とともに、15 歳未満の年少人口も大きく減少すると推計されており、学校の適正規模に関して、より具体的な検討を行う時期に来ていると考えております。

市内の児童生徒数につきましては、小中学校の合計の数で申しますと、平成 27 年度は 1,350 人となっておりますが、5 年後の平成 32 年度では 1,106 人と見込んでおり、小学校では 130 人、中学校では 114 人、全体の割合としては 18%もの減少となる見通しであります。

このことは、現在行っている教育活動に大きな影響があるものと考えられますので、教育委員会といたしましては、子どもたちに良好な教育を保証する観点から、学校や地域の特性を十分に踏まえるとともに、美唄市が目指すべき教育の内容や、それを実現するための学校の適正規模などについて検討してまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員
教育委員会図書館

件 名 2 教育行政執行方針について

中項目 (3) 図書館について

質問内容

図書館の 20 年前、10 年前及び現在の蔵書冊数総数及び市民 1 人当たりの蔵書冊数について伺う。

現行の職員体制の中で、司書資格を有する職員数について伺う。また、今後、図書館職員の中で司書資格を取得させる考え方があるかどうか伺う。

答弁内容

(図書館について) であります、
はじめに、蔵書冊数の状況につきましては、平成 7 年度は 11 万 2,421 冊で、市民一人当たりでは、3.4 冊でありました。平成 17 年度は 13 万 7,803 冊で、市民一人当たりでは、4.8 冊でありました。また、平成 26 年度は 14 万 4,124 冊で、市民一人当たりでは、5.9 冊となっております。

次に、現行の職員体制であります、正規職員が 7 名、嘱託職員が 2 名、臨時職員が 1 名の全体で 10 名であり、その内、司書資格を有する職員は、正規職員が 1 名、嘱託職員が 1 名の計 2 名となっております。

次に、図書館司書の役割についてであります、図書の選定や図書

資料の提供と資料調査等のレファレンスサービスなどを行う専門職であり、図書館司書の配置については、図書館にとって非常に大切なことと考えておりますことから、図書館職員が通信教育などにおいて司書資格を取得するなど、図書館司書の養成について検討してまいりたいと考えております。また、引き続き全体的な職員配置の中で、司書資格を有する職員の配置についても検討してまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

森川 明議員
教育委員会学務課

件 名 5 教科書謝礼問題について

中項目 (1) 教科書採択の仕組みと謝礼について

質問内容

教科書会社が検定中の教科書を校長等調査員に見せ、謝礼を渡していたことには驚きだ。文科省は全国小中学校に発行する 22 社の内、当初 12 社が 5,147 人に対し謝礼 5 万円から数千円を渡し、又、接待もあった。教科書会社は規則の実施細則により、外部に見せることを禁止されている。北海道はその内、全国最多の 489 人が対象とされ、その後 2 社 27 人が増加している。中には、市町村教育委員会職員や退職した校長等も含まれているという。教科書採択の状況については、2014 年第 2 回定例会で質問をしたが、今回の謝礼問題を含め次の点を伺う。

- ①市の状況について
- ②調査員とは第 5 地区に何名か
- ③第 5 採択地区は共同採択地区で、48 名の委員をどのように選出しているのか。市から何名か。
- ④第 5 地区は 23 市町は広域すぎるのではないか。
- ⑤謝礼金に校長等がかかわった事に対し不信感が強い。今後の対応について

答弁内容

(教科書採択について) でありますが、

①教科書発行者が検定中の教科書を教員などに見せていた問題については、現在、北海道教育委員会において事実確認を行っている」と承知しております。

②③次に、調査員についてでありますが、北海道教育委員会の教科用図書の採択の基準に基づき、第5採択地区では「調査委員」という名称が使われております。

この調査委員の選出方法としては、校長、教頭、教諭、市町教育委員会の指導主事に加えて保護者を含む学識経験者から各教育委員会が推薦し、教科用図書採択地区教育委員会協議会が決定することとなっております。

調査委員の人数につきましては、第5採択地区で、平成26年度の小学校用教科用図書に関しては48名で、平成27年度の中学校教科用図書に関しては45名となっており、本市からは平成26年度、平成27年度ともに、3名の教員が調査委員となっております。その役割といたしましては、教科用図書に関する専門的な調査研究を行い、その内容を協議会に報告するものであります。

④次に、第5採択地区の範囲についてでありますが、空知管内という地域としての共通性に加えて、採択に当たっては教科ごとに3名から7名の調査委員の確保が必要であり、一定程度の構成市町数が必要となることから、私としては適正であると認識しております。

⑤次に、今後の対応についてでありますが、北海道教育委員会による事実確認の結果が明らかとなった段階で、その内容に応じて、適正に対応してまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

森川 明議員

教育委員会学務課

件 名 5 教科書謝礼問題について

中項目 (1) 教科書採択の仕組みと謝礼について

質問内容

道教委で事実確認を行っており、今後の対応を含め結果が明らかになってからという簡単な答弁でした。次回の定例会の場で質問を続けます。ただ、答弁の中で、調査員と調査委員は同一であることを知りました。市にも 3 人の調査委員がおり、適正な人物であると述べていますが、採択の権限を持つわけですから、今回の全国全道のこのような事態に対し、教育長として感じている点を伺いたい。

答弁内容

（教科書採択について ）であります、教科書発行者、いわゆる教科書会社が禁止されている検定中の教科書を教員などに見せ、謝礼も渡していた問題につきましては、教育に対する信頼を大きく損ねかねない重大な問題であると受け止めております。教科書会社の意図としては、シェアを伸ばすためではなく、教科書づくりの参考にするための意見聴取が目的と説明しているようですが、営業活動の過熱化であることは間違いないと感じております。

文部科学省では、これまでの方針を見直し、検定中の教科書を見せる行為について、禁止を徹底する一方、採択期間中に教科書会社が

ら教育委員会などへの説明や意見を聞く公の場を設ける方向のよう
であります。いずれにいたしましても、一刻も早く正常化され、
教科書採択の公平性、信頼性を取り戻し、教育への信頼を回復する
ことが何より重要であると考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

森川 明議員
教育委員会学務課

件 名 6 日の丸、君が代について

中項目 (1) 日の丸、君が代について

質問内容

1999 年に「国旗・国歌法」が制定されて以降、教育現場への強制はしないという政府答弁にもかかわらず、卒・入学式の強制が始まり、過去、市の学校現場で混乱する不幸な事が起きた。このような強制は、戦中の挙国体制の記憶から抵抗を覚える市民が多い。

教職員が憲法で保障する内心の自由により、秩序や服従を余儀なくされる事態が、伸び伸びとした学びが保障されるとは思えないし、力づくで従わせるやり方は教育の場にそぐわない。

伺いたい点は、

- ① 道教育委員会から、新たな通達はなかったのか。
- ② 教育委員会の職員随行で、不起立、口ばくまで監視は必要ない。中止できないか。

答弁内容

(卒業式等における、国旗・国歌について) であります、

- ① 北海道教育委員会においては、従前どおり学習指導要領の趣旨を踏まえた適切な実施及び儀式的行事の意義を踏まえた内容とするよう通知がなされているところであり、新たな内容の通知はありません。

② 次に、市教育委員会職員についてありますが、卒業式や入学式において、市教育委員会の告辞を述べる各教育委員とともに、児童生徒の卒業や入学を祝う立場で参列しております。また、各学校の創意工夫のもとに整然と式が行われているところを見させていただいているものであり、これにつきましては、続けてまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

森川 明議員

教育委員会学務課

件 名 6 日の丸、君が代について

中項目 (1) 日の丸、君が代について

質問内容

- ①新たな通知はなかったとの答弁は、強制はないと理解してよい
か。
- ②毎回の答弁の中で、儀式的行事の意義とあるが、通知内容の儀式的
行事とは何か。
- ③教育委員会職員の卒・入学式参加に当たり、不起立、口ぱくの確
認は、職務でないと理解してよいか。

答弁内容

（卒業式等における、国旗・国歌について ）であります、

- ① これまでどおり、各学校において、十分な話し合いのもとに行
われるよう、お願いしております。
- ② 次に、儀式的行事についてであります、「学校生活に有意義
な変化や折り目をつけ、厳粛で清新な気持ちを味わい、新しい生活
の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」とされており、
卒業式や入学式などは、これに当たります。
- ③ 次に、市教育委員会職員についてであります、各学校に出席
する教育委員に随行し、ともに児童生徒の卒業や入学を祝う立場で
参列させていただいているものであります。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再々質問

森川 明議員
教育委員会学務課

件 名 6 日の丸、君が代について

中項目 (1) 日の丸、君が代について

質問内容

卒・入学式における教育委員会職員の随同行は、祝う立場で参加するということで、職務の中に起立と口ばくの確認までは入っていないと、2 度にわたる答弁が同じため、理解してよいか。

答弁内容

（教育委員会の職員について）であります、
各学校が厳粛な中にも創意工夫を凝らして行う卒業式等の「全体の様子」を見させていただきたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

山崎 一広 議員
教育委員会生涯学習課

件 名 6 教育行政について

中項目 (1) アルテピアッツァの美術館化について

質問内容

- ① どのように進めて行くのか
- ② 指定管理との関係について

先の 4 定の『議員協議会』で説明、年明けの 1 月 4 日付けの道新で、「アルテピアッツァ美術館に」との記事が掲載されていたが、市民の方々からは、新しく建てるのか？とか、時期尚早ではとの意見をお聞きするが、どのように進めて行くのか、常任委員会も開催されるが、お聞きする。

また、指定管理の関係はどのようなになるのか伺う。

答弁内容

（アルテピアッツァ美唄の美術館化について ）であります、アルテピアッツァ美唄は、安田侃先生の彫刻作品 44 点を常設展示するほか、コンサートや展覧会の開催、こころを彫る授業などの体験事業を実施するなど、これまでも美術館と変わらない内容の施設となっております。

このたびの美術館化の目的は、美術館としての位置付けと役割を明確にし、より高いレベルの文化芸術活動を行うとともに、本市の

文化の創造とまちの賑わいの創出に寄与しようとするものであります。

なお、先に募集したパブリックコメントの結果では、2名1団体から意見が寄せられましたが、郷土史料館の充実を求められた1名を除き賛成のご意見でありました。

また、建物につきましては、新たに新築する等の計画は、現在のところ持っておりませんが、老朽化が進んでいることから、必要に応じて安全性や耐久性を高めるための修繕等を行ってまいりたいと考えており、今後、駐車場の整備や屋外トイレの新設などを検討する必要があるものと考えております。

次に、施設の管理・運営につきましては、美術館となっても、これまでどおり指定管理の方法により実施してまいりたいと考えております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

山崎 一広 議員
教育委員会生涯学習課

件 名 6 教育行政について

中項目 (1) アルテピアッツァの美術館化について

質問内容

入館料は取らないのか、学芸員や助手も必要とお聞きするが、指定管理の関係で言えば、予算的にはどのようなになるのか？

また、消防法や建築基準法との関係は？クリアしなければならない事はないのか？コンサート開催におけるスプリンクラー設置等の基準はないのか？ 再度お聞きする。

答弁内容

（入館料について ）であります、
収入確保の観点から、これまでどおり引き続き、検討したいと考えております。

消防法や建築基準法との関係であります、施設開設時には、既に美術館として用途変更を申請しており、今回、登録いたしましても、これまでと用途や建物の内容に変更がありませんので、新たな要件が生じたり、スプリンクラーなどの設備等が必要になることはないことを確認しております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

山崎 一広 議員
教育委員会生涯学習課

件 名 6 教育行政について

中項目 (2) 生涯スポーツの振興について

質問内容

①サン・スポーツランドの管理棟にある自転車の貸し出し状況について

旧東明駅舎裏に『サイクリングターミナル』があるが、自転車は現在、サン・スポーツランド管理棟で5月から10月末までの期間、貸出しているとお聞きしているが、現在、何台保有しているのか、年間の貸し出し件数はどれ位あるのか、貸し出し時間は、何時から何時までなのか 伺う。

答弁内容

（自転車の貸出状況について）であります。

教育委員会では、平成8年9月にサイクリングターミナルを旧東明駅舎裏に設置した際に配置した自転車と平成12年度に購入したマウンテンバイクを管理しております。

現在は、比較的状态の良い自転車14台をサン・スポーツランドの管理棟に移し、毎年、整備を行い無料で貸出しております。

貸出の実績につきましては、平成26年度が延べ70台、27年度は延べ417台となっており、27年度は、自動車運転免許取得合宿の参加者に試行的に貸出したことにより増加しております。

また、貸出しの受付は、5月1日から10月31日までの午前9時から午後5時まで、管理棟で行っております。

平成 28 年 第 1 回 定例会 一般質問

再質問

山崎 一広 議員
教育委員会生涯学習課

件 名 6 教育行政について

中項目 (2) 生涯スポーツの振興について

質問内容

毎年発行している「美唄市の教育」で、美唄市サイクリングロードが掲載されているが、東明駅舎のサイクリングターミナルが現在活用されていない状況であれば、美唄駅前で自転車の貸出等の活用は考えられないものか。

まちなかのサイクリングロードの整備を含めて、市内のウォーキングロード（北海幹線のウォーキングロード等）を活用してはいいかがか。

答弁内容

（自転車の貸出場所について）ではありますが、
利用者の利便性を考えたとき、貸出場所が市の中心部にあることが望ましいと考えております。

しかしながら、貸出業務の担い手や保管場所の確保を考えた場合、課題が多いことから、現在、検討しております既存の道路網を活用した新たなサイクリングコースを確定した後、利便性、安全性の観点や管理方法などを含め、市長部局や関係機関とも協議しながら早急に検討してまいりたいと考えております。